

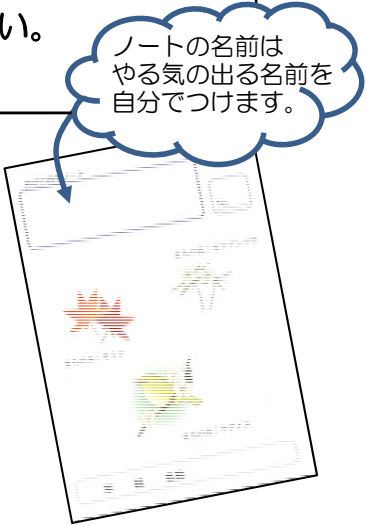
学び方を身につける「おがの自学ノート」

小学校卒業までに、「自分に必要な勉強をどのように進めたらよいかわかる」子供たちを育てたい。そのような思いから、小鹿野町では小学生に「おがの自学ノート」を配布しました。このノートを使って子供たちの“やる気”を引き出すためのポイントは、次の3つです。

- ① 子供たちは、自分の興味・関心のあること、苦手なことに自力で取り組みましょう。
- ② ご家庭では、お子さんが自分で決めて取り組んだことをほめてください。
- ③ 先生方は、子供たちの可能性を信じ、伸びた部分を認めてください。

子供たちが自分の勉強のやり方を身につけるのは時間のかかることです。小学校1，2年生は、先生が出す宿題をきちんとやって提出する習慣を身につけましょう。3，4年生は、宿題ばかりでなく、自分の興味・関心のあることを調べたり、苦手な内容を繰り返し練習したりしてみましょう。5，6年生になったら、宿題が出なくても、自分で考えて取り組めるようになりましょう。そして、自分のやるべきことを考えることのできる中学生に成長することを期待しています。

もちろん、はじめは稚拙な内容のこともあるかと思います。個人差もあります。ぜひ、子供たちと、ご家族と、先生方でよく話し合って、そのお子さんに合ったやり方で“やる気”を引き出せるようご協力ください。



小中学生の体力 県平均値を大きく上回る ～平成29年度体力テストの結果～

小鹿野町の小中学生の平均値は、**学年別男女別で分けた144項目中98項目が県平均値を上回り、5項目が県平均値と同一でした。**

特に、立ち幅とびは88.9%の項目で、握力は77.8%で県平均値を上回っています。

課題は50m走です。県平均値を上回っているのが44.4%、下回っているのは38.9%と、県平均値をやや上回ってはいますが、改善が望まれます。

さて、平成30年度も5月に各学校で体力テストを行います。各学校では、この体力テストの結果をふまえ、再調査を行うなど、子供たちのよいところをさらに伸ばし、課題を克服する取組を行ってきました。今年も一人一人が自己ベストを更新することを期待しています。

	小1		小2		小3		小4		小5		小6		中1		中2		中3		県平均値との比較			
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女		○	－	×
握力	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	項目数	14	0	4
																			割合%	77.8%	0.0%	22.2%
上体起こし	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	項目数	12	0	6
																			割合%	66.7%	0.0%	33.3%
長座体前屈	○	○	○	○	○	×	×	－	○	○	○	×	×	○	×	○	○	○	項目数	12	1	5
																			割合%	66.7%	5.6%	27.8%
反復横とび	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	×	○	○	×	×	×	項目数	12	0	6
																			割合%	66.7%	0.0%	33.3%
持久走													○	○	×	×	×	○	項目数	3	0	3
																			割合%	50.0%	0.0%	50.0%
20mシャトルラン	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	×							項目数	9	0	3
																			割合%	75.0%	0.0%	25.0%
50m走	○	○	○	○	○	○	×	－	○	－	×	－	×	○	×	×	×	×	項目数	8	3	7
																			割合%	44.4%	16.7%	38.9%
立ち幅とび	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	項目数	16	0	2
																			割合%	88.9%	0.0%	11.1%
ボール投げ	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	×	×	－	項目数	12	1	5
																			割合%	66.7%	5.6%	27.8%
合計																			項目数	98	5	41
																			割合%	68.0%	3.5%	28.5%

※ ○:県平均値を上回っているもの ー:県平均値と同一のもの ×:県平均値を下回っているもの

おがの教育

教育委員会だより No. 12<H30. 5. 1 号>

地域の特性を生かした「小鹿野ならではの教育」の展開

新しい学習指導要領が平成32年度の小学校から順次実施されます。そのポイントは、幼稚園から高校までの一貫した流れと、いわゆる「アクティブラーニング」、「社会に開かれた教育課程」の推進にあります。

主体的に学ぶ力を身に付けた新たな社会を構成する人材の育成に向け、幼児教育から一貫して学校と地域社会が総力を挙げて取り組もうというものです。そのためには、明確な目標と手立てを共有することが不可欠であり、これからの小鹿野教育の方向として『2本の柱』を設定しました。

また、学校教育ビジョンに基づく、本年度の重点施策を下記の通り設定しました。各学校の実態に応じ、それぞれの学校が工夫しながら重点的に取り組んでまいります。

小鹿野町の教育の柱	
学力の向上	心の教育
☆ 主体的な学びの育成	☆「人のために」という意識
☆ 言語に関する能力の育成	☆ 人間としての「もとをつくる」
○主体的な学び	○「志ノート」や「夢や志についての作文」
・小鹿野ベース ⇒ 楽しい授業への転換	心の教育に関する様々な取組を通して、その
・自学ノート ⇒ 学び方を身につける	時々の気づきや、成長した自分の記録を積み上げ
・家庭教育宣言 ⇒ 親子共学、生活習慣	ます。
○言語能力の育成	○立志式
言語は学びの基盤である論理的思考だけでは	積み上げた自分の総まとめとして、中学校卒業
はなく、コミュニケーションや感性・情緒の	期に、将来の決意や目標を明らかにする機会
基盤でもあり、豊かな心をはぐくむ上からも	を設けます。保護者や地域の方にも見届けてい
重要な意味を持ちます。	たきます。

平成30年度小鹿野町教育行政重点施策

- 1 確かな学力の育成

○ 学力の定着に向けた学習機会の充実

(1) 小鹿野ベースによる授業改善

(2) 家庭学習習慣の定着

(3) 教職員の資質の向上
- 2 自立し周囲と協調できる社会性の育成

○ 人とのつながりを大切にする社会性の育成

(1) 「人のために」という意識の高揚

(2) ハートコンタクトプログラムの推進

(3) おがの家庭教育宣言の推進
- 3 グローバルな視点を持ち夢の実現に向かう活力の育成

○ 子供たちの未来を拓ける教育スクラムによる支援

(1) 外国語教育の充実

(2) ICT活用能力の育成

(3) 小鹿野未来塾による学習意欲の高揚
- 4 豊かな人間性と健やかな体の育成

○ 命と心を大切にする教育の推進

(1) 夢と志の育成

(2) ほっとハートキャンペーンの実施

(3) 健康教育の推進
- 5 伝統文化の継承と生涯にわたる学びの支援

○ 生涯にわたる学びの支援とスポーツの推進

(1) ライフステージに合わせた学習機会の提供と支援

(2) 生涯学習推進体制の整備と促進

(3) 健康づくりとスポーツの推進

(4) 文化芸術の振興と伝統文化の継承

(5) 図書館機能の充実と読書活動の推進

小学校の現状

～進む少子化～

小鹿野町の児童数は、平成17年の旧両神村との合併時の769人をピークに減少を続け、平成30年度は574人となりました。今後更に減少は続き、平成35年度には370人程度となることが予想されます。
 小学校の小規模化への対応は大きな課題となっております。



学級数・児童数の推移(予想)

〈平成30年4月1日現在〉

学級数	年度	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38
18		仮想統合校								
17			仮想統合校							
16				仮想統合校						
15					仮想統合校					
14						仮想統合校				
13							仮想統合校			
12		鹿小	鹿小	鹿小				仮想統合校	仮想統合校	仮想統合校
11										
10					鹿小					
9						鹿小				
8							鹿小			
7								鹿小		
6	(全学年単学級)	長小 両小	長小 両小	長小 両小	両小	両小	両小		鹿小	鹿小
5	(複式1学級)	三小	三小		長小	長小	長小	長小 両小	両小	
4	(複式2学級)			三小	三小	三小	三小	三小	三小 長小	三小 長小
入学児童	鹿小 長小 三小 両小	54 12 7 14	42 8 5 11	37 8 8 12	32 9 4 12	27 10 8 9	28 7 3 5	24 7 5 8		
全町児童数		574	544	503	453	417	372	329		

児童数・学級数は、年々減少を続け、平成36年度から小鹿野小学校以外すべて複式校となります。平成37年度からは、小鹿野小学校も単学級校となり、クラス替えができない状況となります。

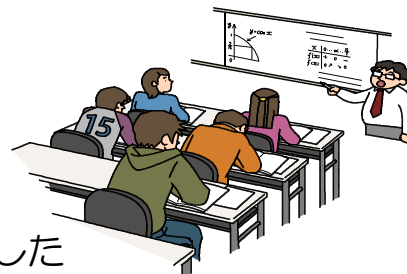
子供たちの生育過程においては、ある程度の人数がいて、多様で豊かな人間関係が経験できる活気のある環境の中で切磋琢磨し、未来に向かって互いに成長していくことが望ましいといわれていますが、小規模校には小規模校の良さもあります。

今後、学校規模による様々なメリットとデメリットを踏まえて十分に検討し、児童にとって望ましい教育環境がどうあるべきかを保護者・地域の皆様とともに考えてまいります。

小規模校教育の充実

よく言われる小規模校のメリット・デメリットの多くは、表裏一体の関係にあります。小規模校のよさとして、子供一人一人の深い理解や関わり、活躍の場の多様な設定などがあります。

当面は、小規模校のよさの発揮に努め、メリットを生かした小鹿野町ならではの教育の推進に向けて努力してまいります。皆様のご協力をよろしくお願いいたします。



小鹿野未来塾

～未来塾は学校の取組を支援します！～

小鹿野未来塾の取組も3年目になります。前号(第11号)で、漢検・英検チャレンジ参加者へのアンケート結果等をお知らせしましたので、今号では、中学生未来塾と科学不思議講座の様子等について紹介します。



「参加してよかった！」～昨年度参加者の声より～

＜中学生未来塾＞

- よくわからなかった内容や家庭学習の仕方を教えていただき、学校の授業がわかりやすくなった。(中1)
- みんなで楽しく学習できてよかった。(中2)
- あきらめないで勉強できてよかった。これからもあきらめないでいろいろなことに取り組みたい。(中3)



中学生未来塾の講座の様子

＜科学不思議講座＞

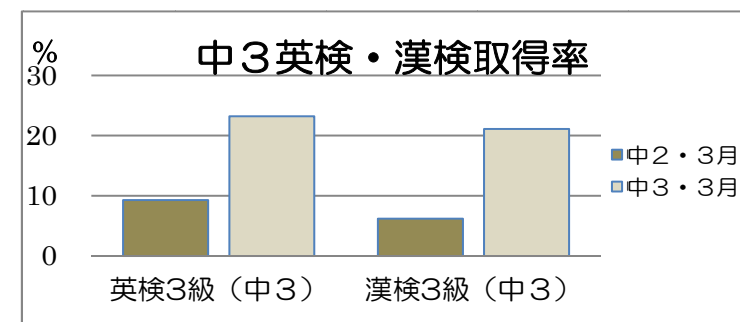
- いろいろなことを知ることができた。(小4)
- とてもわかりやすく教えていただきうれしかった。次も楽しみ。(小5)
- いろいろな発見のできる講座に参加できて、子どもも親も楽しめた。(保護者)



液体窒素にバラの花を入れる

それぞれの講座のアンケートでは、中学生未来塾(約92%)、科学不思議講座(約96%)の参加者から、「参加してよかった」との回答をいただきました。

中学生の英検・漢検取得率が伸びています！



＜小鹿野町の目標＞ 中学校卒業時3級取得者40%

昨年度の中学3年生の英検・漢検の3級取得率は、1年間で大幅に向上しどちらも20%以上になりました。

難関の漢検準1級、英検2級に合格するという輝かしい成果をあげた生徒もいます。

今年度の取組

中学生未来塾では、生徒の学習進度に合わせて学習を進め、複数の講師が個別指導もします。漢検・英検チャレンジは、10月の第2回検定をめざして、過去問等の学習をきめ細かく指導します。科学不思議講座は、新たな内容で科学への興味・関心を高めます。

今年も、5月12日の中学生未来塾、英検チャレンジスクールから、いよいよ始まります。子どもたちと共に学んだり、学びの様子を聞いたりしながら、小鹿野町の子どもたちの夢や志へのチャレンジを家庭や地域全体で応援してください。